

チームビルディング研修

1. 研修の目的

チームを機能させ、組織目標の達成レベルを上げる。

対象者: 全職員

2. 研修の全体像

研修のゴールの共有（目的の共有）



理想的なチームとは何か
～こんなチームであれば、一員になりたい～



相手を気遣い、同時に、気遣われていることを知る

1. 気遣いとはどのようなことを指すのか、具体的に知る
2. 相手の気遣いを目に見えろとは限らない。隠された意図を知る

目的、目標、手段の明確化と、それに対するチーム全員の納得を得た上での共有

1. 建設的かつ良好な人間関係を構築するコミュニケーションの取り方を知る
2. 目的、目標、手段の違いを明確に理解する
3. 納得感のない目的、目標、手段には、誰もついてこないことを知る

客観的分析結果に基づくチーム全体での定期的現状確認と行動計画立案

1. 知識技術レベルの測定について、外部機関を活用できそうなら活用する
2. 行動計画立案の際には、ある程度の全員の納得が得られるような進め方を行う



自分を変える



相手が変わる



チーム全体が変わり、一丸となり目標達成を成し遂げる

3. 研修内容

| | | 内 容 |
|-------|---|---|
| 9:00 | <p>オリエンテーション</p> <p>1. 理想的なチームとは何か ～こんなチームであれば、一員になりたい～</p> <p>2. 理想のチームを構成するためには、何が必要なのか</p> <p>1) 相手を気遣い、同時に、 気遣われていることを知る</p> <p>① 気遣いとはどのようなことを指すのか、 具体的に知る</p> <p>② 相手の気遣いは目に見えらるとは 限らない。隠された意図を知る</p> <p>2) 目的、目標、手段の明確化と、それに対する チーム全員の納得を得た上での共有</p> <p>① 建設的かつ良好な人間関係を構築する コミュニケーションの取り方を知る</p> <p>② 目的、目標、手段の違いを明確に理解する</p> <p>③ 納得感のない目的、目標、手段には、誰も ついてこないことを知る</p> <p>3) 客観的分析結果に基づくチーム全体での 定期的現状確認と行動計画立案</p> <p>① 知識技術レベルの測定について、 外部機関を活用できそうなら活用する</p> <p>② 行動計画立案の際には、ある程度の 全員の納得が得られるような進め方を行う</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 研修の目的と全体像。 • 「理想的なチームとは何か ～こんなチームであれば、一員になりたい～」 上記をテーマに、そのイメージをグループワークで具現化 します。その結論と座学で学習する項目をリンクさせること で、参加者の主体性を醸成します。 • 理想のチームを構成するためには、何が必要なのか、 座学と事例研究を通して学習します。 • 理想のチームを作るためには、すべて、自分を変えること から始まることを知ります。 • コミュニケーションの取り方、合意形成の方法、外部機関 の診断結果による正確な現状レベルを受け入れる謙虚さ など、当テーマはヒトの本質に関わります。 • 自分を変えるか、相手が変わるまで永遠と待つか考え、自 分を変えたいのであれば、そのきっかけを当研修でお渡し することができます。 |
| 16:30 | <p>3. 質疑応答</p> | |